

恵山の火山活動解説資料（平成25年4月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1～3、図4-①）

Y火口の噴気の高さは火口縁上100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

12日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、各火口の状況に特段の変化はありませんでした。

・ 地震及び微動の発生状況（図4-②③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図4-④）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。



図1 恵山 山頂部の状況（4月29日、^{たかだい}高岱遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成25年5月分）は平成25年6月10日に発表する予定です。

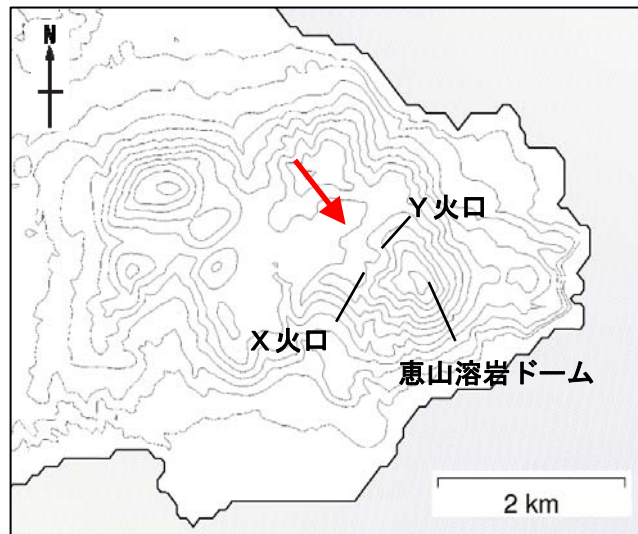


図 2 恵山 恵山溶岩ドーム周辺図と写真の撮影方向（矢印）

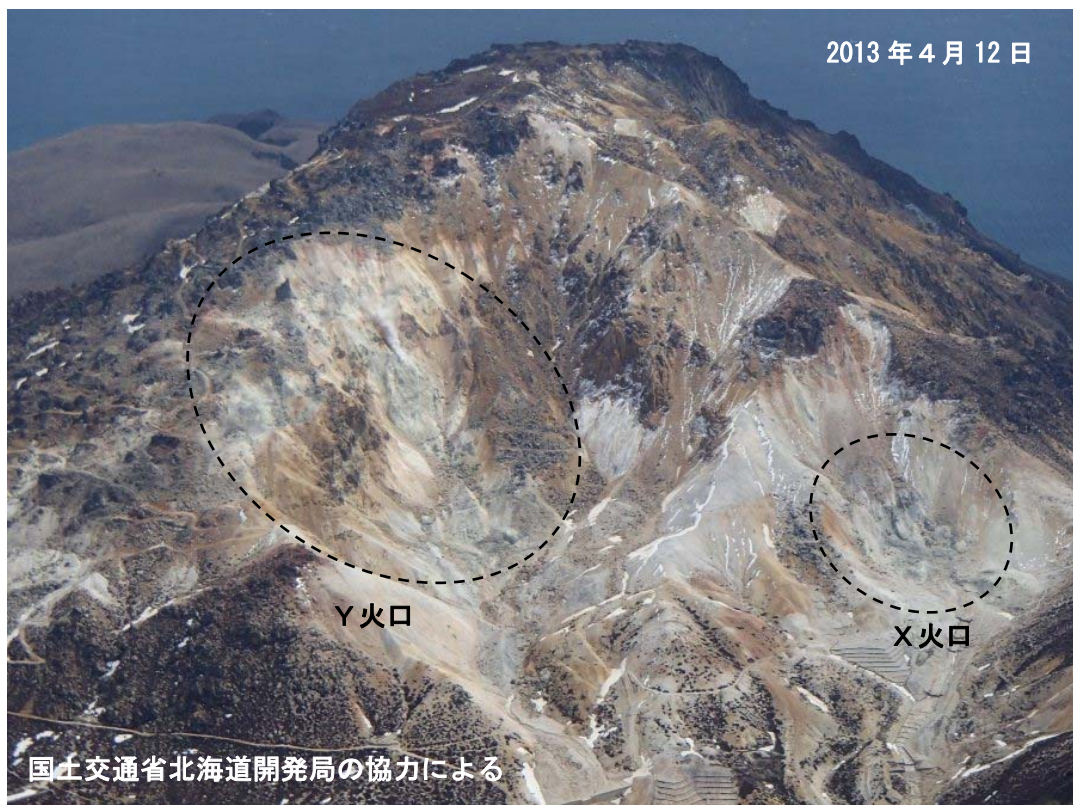
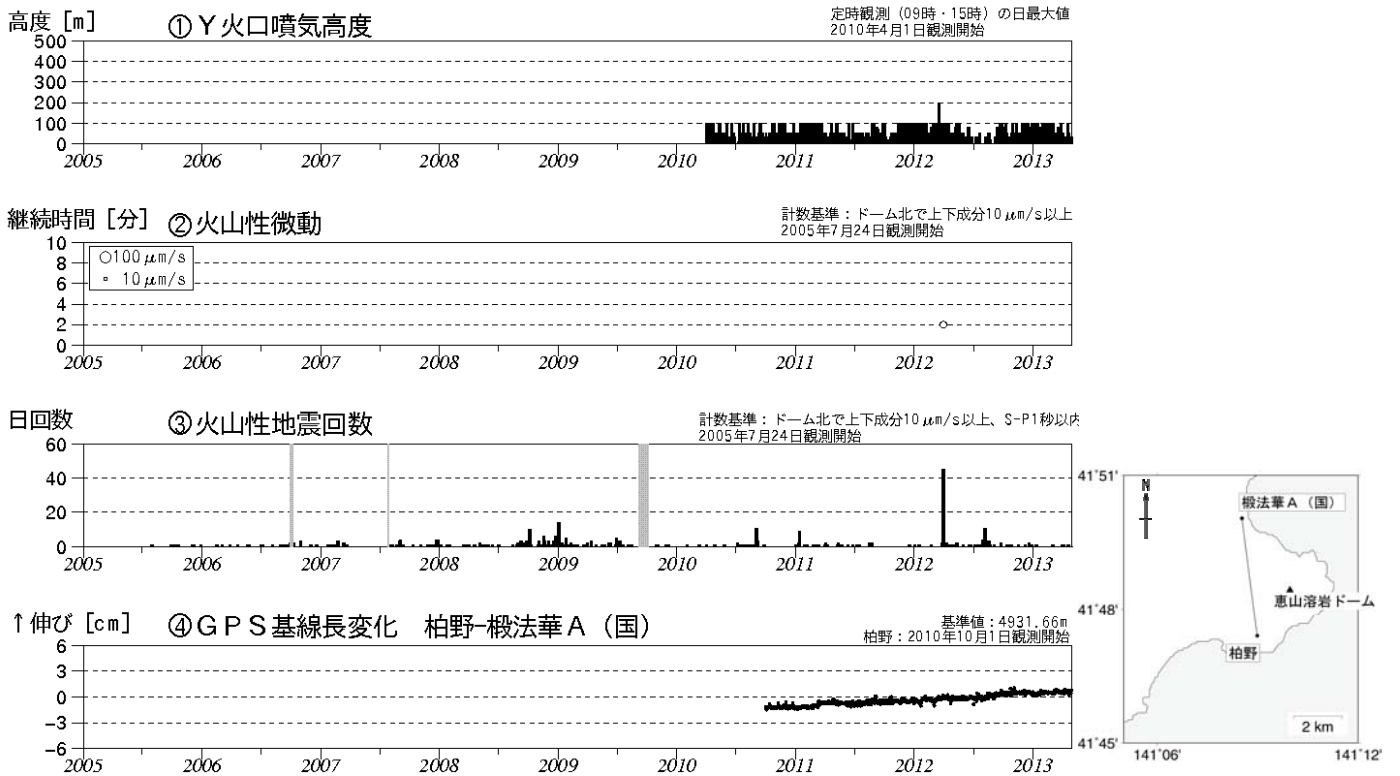
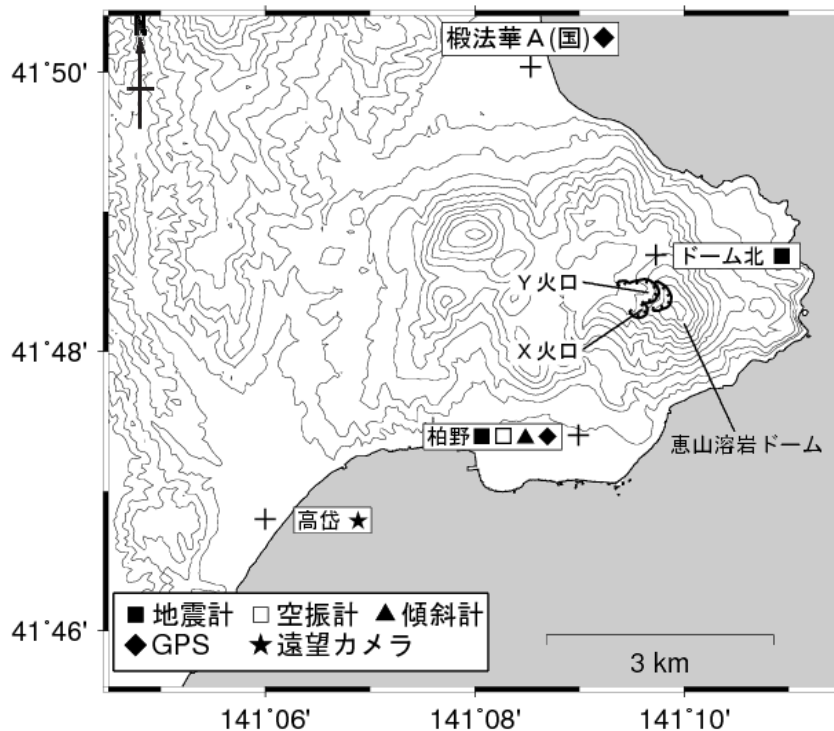


図 3 恵山 X 火口及び Y 火口周辺の状況 北西側上空（図 2 の矢印方向から撮影）



- ・ 灰色の期間は機器障害のため欠測しています
- ・ ④のGPS基線は右図に対応しています
- ・（国）：国土地理院



+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
（国）：国土地理院